

大会名 Competition	第36回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-110	Year Month Day Time 2023 年 5 月 4 日 17 : 30
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA 中部大第一 88 ○	<table border="1"> <tr><td>25 1st 17</td></tr> <tr><td>24 2nd 18</td></tr> <tr><td>24 3rd 11</td></tr> <tr><td>15 4th 19</td></tr> <tr><td>0 T</td></tr> </table>	25 1st 17	24 2nd 18	24 3rd 11	15 4th 19	0 T	チームB 前橋育英 65 ●
25 1st 17							
24 2nd 18							
24 3rd 11							
15 4th 19							
0 T							

主審:Crew chief
田中 直幸 秋田
副審:Umpire
京極 幸村 秋田
諸沢 駿 秋田

テーブル・オフィシャル:Table officials
能代科学技術高校バスケットボール部

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	
4	×	佐渡 樹也	cap	12	0	6	0	2	4	×	高草木 琉斗	cap	0	0	0	0	2	
5	×	外山 颯紀		13	0	4	5	2	5	／	ディアロ 阿慈素		5	0	2	1	2	
6		西村 謙慎		-	-	-	-	0	6	×	下山 純也		11	0	2	7	4	
7	×	清水 祥敬		13	3	2	0	1	7	×	木暮 凌汰		11	2	2	1	3	
8	×	ンベイエ ムハマド		14	0	6	2	0	8	／	増田 聖大		0	0	0	0	2	
9	／	前田 凌侑		19	0	8	3	4	9	／	元木 琉生		2	0	1	0	0	
10	×	アグイ 要哉		0	0	0	0	2	10	／	吉野 綾馬		12	1	4	1	1	
11	／	三浦 悠詩		3	1	0	0	1	11	／	菊谷 宗右		7	0	3	1	1	
12	／	高橋 昇霖		2	0	1	0	0	12	／	片桐 柁哉		0	0	0	0	0	
13	／	渡辺 朋樹		5	1	1	0	2	13	×	レバン ハオ		2	0	1	0	2	
14	／	遠山 瑞樹		2	0	1	0	1	14	／	永井 陸翔		3	1	0	0	0	
15		トゥレ サリウ		-	-	-	-	0	15	／	丸山 颯太		2	0	1	0	1	
16	／	高岡 春吾		5	1	1	0	0	16	／	新井 呂依		6	0	3	0	0	
17	／	鶴澤 潤之介		0	0	0	0	0	17	／	山崎 創志		2	0	1	0	2	
18	／	住友 笑恵人		0	0	0	0	1	18	×	原澤 快吏		2	0	1	0	1	
コーチ		常田 健						0	コーチ		田中 亮多						0	
スコア		西村 彩						0										0
合計				88	6	30	10	16	合計				65	4	21	11	21	

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	19	21.59%	前田 凌侑
2	14	15.91%	ンベイエ ムハマド
3	13	14.77%	外山 颯紀

1	12	18.46%	吉野 綾馬
2	11	16.92%	下山 純也
2	11	16.92%	木暮 凌汰

Score ranking[Game]

1	19	前田 凌侑	中部大第一	2	14	ンベイエ ムハマド	中部大第一	3	13	外山 颯紀	中部大第一
---	----	-------	-------	---	----	-----------	-------	---	----	-------	-------

1Q、中部大第一は当たりの激しいマンツーマンから#8ンベイエのリバウンドシュートや#7清水の3Pで得点する。一方の前橋育英はなかなかボールが回らず苦しい展開。前橋育英はフルコートのプレスとルーズボールでチャンスを掴むが、シュートが決まらず伸び悩む。中部大第一#7清水、#13渡辺が3Pを決める中、前橋育英も#7木暮、#11菊谷の3Pで追いつき、25-17、中部大第一8点リードで1Q終了。

2Q、激しい当たりのディフェンスを継続する中部大第一に対し、前橋育英はリバウンドやルーズボールで粘りを見せ、#6下山のバスケットカウント、#11菊谷のドライブ、#7木暮の3Pで追い上げを図る。しかし中部大第一が長身の#8ンベイエをコートに戻しリバウンドを支配しはじめると、前橋育英はファウルが続き停滞。49-35で前半終了。

3Q、中部大第一は#5外山、#13渡辺がオフェンスをコントロールし、前橋育英はペースが掴めない。さらにリバウンド支配を強めた中部大第一は#7清水の3P、#4佐渡のリバウンドシュート等で得点を伸ばし、73-46で3Q終了。

4Q、両チームともメンバーチェンジで次々と走れる選手を投入、激しく攻守が入れ替わるスピード感のある展開となる。中部大第一のリバウンド支配に対して前橋育英はルーズボールで対抗するも、徐々に点差は開き、88-65で中部大第一が勝利した。